

対話と実行座談会

れいほく田舎暮らしネットワーク の取り組み

平成22年7月6日（火）

れいほく田舎暮らしネットワーク
会長 山本福太郎

「れいほく田舎暮らしネットワーク」 結成までの経過！

◆生まれ育った土佐町にUターン

2003年に42年ぶりに大阪から単身でUターンした。
翌年から移住してきた方の訪問開始

◆情報の輪が広がった。

「〇〇さんは3年前に、東京からUターンしている。」
などの情報が入ってくるようになる。

◆本音が語れるようになる。

「移住してきた方の本音が聞けるようになり、幅広い
つながりができるようになる。」



「れいほく田舎暮らしネットワーク」 結成までの経過 II

◆組織づくりを意識した取組へ

↓
れいほくに移住してもらえる組織を作ろうとの思いから、4カ町村のバランスのとれた訪問活動を開始

◆「れいほく田舎暮らしネットワーク」結成

2007年12月「れいほく田舎暮らしネットワーク」を立ち上げた。

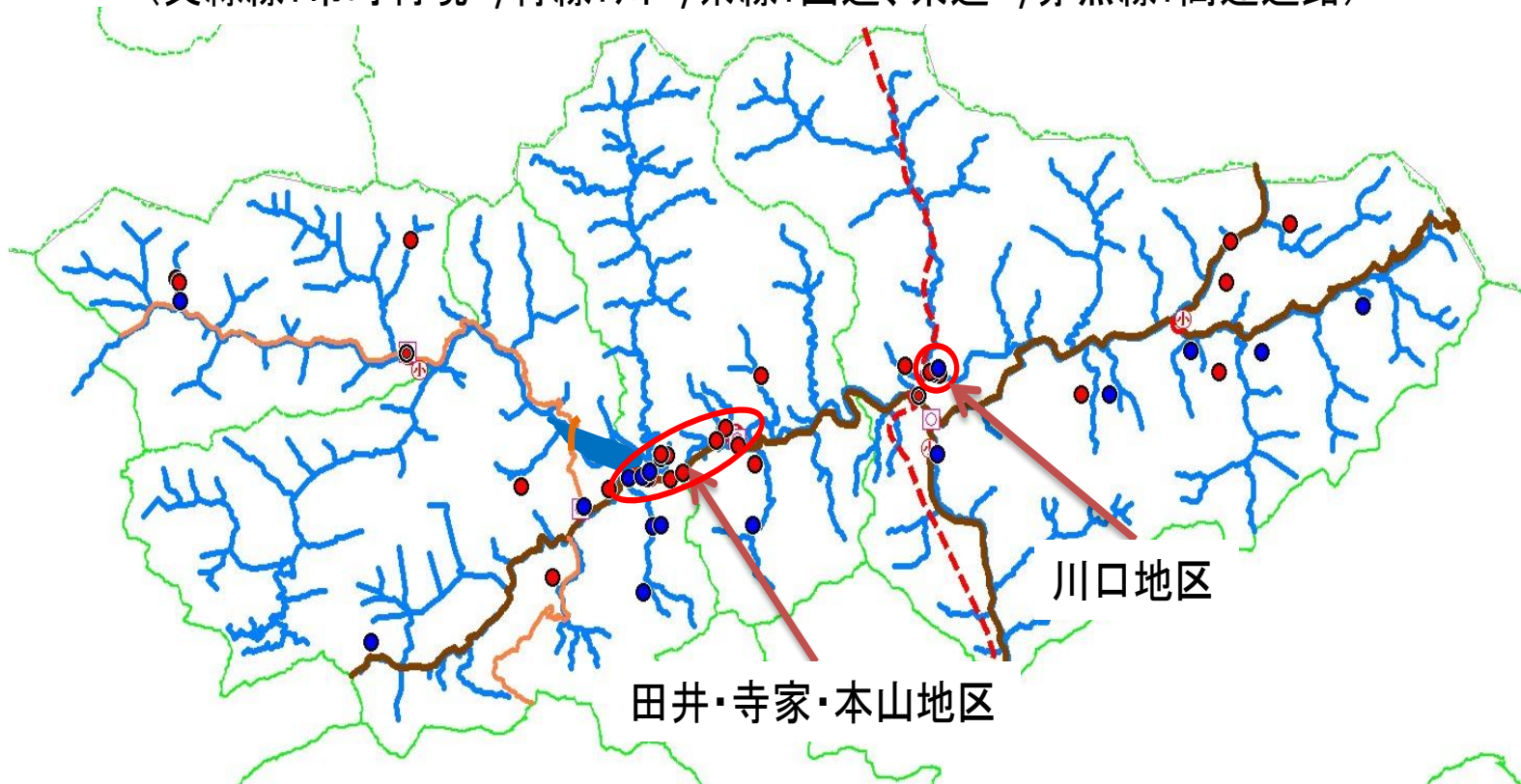
移住してきた方たちの横のつながりを強くするため、「れいほく移住者の会」も同時結成

結成当時は71世帯 → 現在は100世帯



移住された方の在住先

(赤点:1ターン者 /青点:Uターン者 /赤丸:移住者密集地)
(黄緑線:市町村境 /青線:川 /茶線:国道、県道 /赤点線:高速道路)



れいほく田舎暮らしネットワーク の活動状況（21年度の主な活動）

- 1 移住促進先進地視察
山口県阿武町
- 2 夢シンポジウムの開催 一緒にやろうよ 横北で！
横北の未来を語る。
- 3 移住された方の実態把握
67名の調査実施
- 4 訪問活動
- 5 体験事業の受け入れ
農林業の体験
- 6 交流事業
- 7 活動報告書の作成



地域活性化に果たしている役割

◆教育委員や青年団長などで活躍

都会で培った潜在能力をいかんなく発揮
地域活性化に貢献

◆地域が元気に・・・

地域の活動に定期的に参加しており、「地域が元気になった。」と言われる。

◆移住された方の相談窓口・相談相手

ネットワークの会及び移住者の会の役員は連携が密にとれており、仕事や生活面でのよき相談相手



考えられる課題は・・・

- 1 「住居」と「仕事」の確保**
- 2 町村ごとのリーダーの育成**
- 3 町村担当者の密な連絡体制**
- 4 移住者のニーズに対応できる情報の集約や提供体制の構築**
- 5 移住者間のネットワーク強化**



今後の活動方針

◆情報発信機能の充実

ホームページの充実・パンフレット等の作成

◆会員間の連携を図る

ネットワークの会への入会案内

会員間の交流

◆移住者の持てる力の発揮

